



【先週 12月20日～12月26日の外食の出来事】

■ギフト、2020年10月期(2019年11月～2020年10月) 増収減益

2020年10月期 通期の連結業績は売上高109億8200万円(対前年同期比21.3%増)、営業利益4億6100万円(同54.2%減)、経常利益5億1200万円(同50.0%減)、当期純利益1億1200万円(同78.5%減)であった。

■銚子丸、上半期(2020年5月16日～11月15日)の業績 減収増益

2021年5月期 第2四半期の業績は売上高87億8800万円(対前年同期比9.5%減)、営業利益3億5600万円(同41.4%増)、経常利益3億8500万円(同34.1%増)、四半期純利益2億200万円(同39.5%増)と減収も増益を確保。

■ホットランド、グルメバーガーショップ「Ju the burger」東京1号店をオープン

ホットランドは、(株)エヌシーと業務提携契約を結び、グルメバーガーショップ「Ju the burger 東銀座店」を東京1号店として12月21日にオープンする。「Ju the burger」は、群馬県桐生市で展開する人気のグルメバーガーショップ。

■すた井、テイクアウト・デリバリー専門店を展開 店舗不在エリアを埋める

「伝説のすた井屋」などを運営するアントワークスが、初となるテイクアウト・デリバリー専門店を東京都葛飾区青戸にオープンさせる。この青戸店を皮切りに、FC展開も視野に入れてテイクアウト・デリバリー専門店の出店を加速。

■焼肉の和民、前年比280%超え&10店舗達成

コロナ禍で業績が振るわないと言われている2020年の飲食業界で、居酒屋業態の前年売上比約60%に対して、「焼肉の和民」は期間前年売上比283%を記録など、焼肉業態へ転換したことで好評を博している。

■くら寿司、都心出店加速 一部で1皿10円値上げ

くら寿司は、東京都や大阪市の都心部への出店を強化する。2021年1月に渋谷・新宿に開業する予定だ。新型コロナウイルス感染拡大の収束後の外食需要の回復を見据え、会社員などの客層を開拓する考えだ。

■幸楽苑、養老乃瀧と初コラボ!「養老乃瀧の養老牛丼」を販売

幸楽苑は、全国の店舗にて、「養老乃瀧」とコラボした2つの新商品「養老乃瀧の養老牛丼」(440円/税込)と「養老乃瀧の養老牛丼を使った年越し肉中華そば」(680円/同)を12月24日～31日の8日間限定で販売する。

■トリドール、「ボートヌードル」のマレーシア国内でのFC展開を開始

トリドールホールディングスは、傘下グループ企業のUtara 5 Food&Beverageが展開する東南アジアで人気のヌードルブランド「Boat Noodle(ボートヌードル)」のマレーシア国内でのフランチャイズ展開を開始した

■大阪市の飲食店“3533店”が廃業…北区と中央区で半数近く占める

新型コロナウイルスの感染拡大の影響などで、大阪市内で今年4月～11月までの間に飲食店3533店が廃業した。大阪市によりますと去年の同じ時期に比べて約3割も増えたということです。